

# インパクト投資レポート vol.2



ネクストシフトファンドに投資したお金は、 投資先でどのくらいの効果があるのだろう? そんなことを考えたことはありませんか? インパクト投資レポートでは、

ネクストシフトファンドがこれまでに投資をした マイクロファイナンス機関の社会的インパクト投資等について紹介します。

## マイクロファイナンスファンドについて



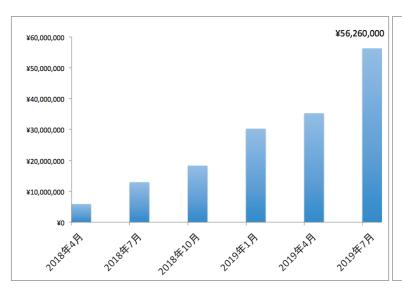
ネクストシフトファンドが募集しているマイクロファイナンスファンドは、カンボジアやジョージアといった新興国にあるマイクロファイナンス機関(小口融資に特化した金融機関で、主に農家や中小企業の支援を目的とする。以下MFI)に融資をするファンドです。
融資先MFIは借入金を原資として、各国内で農家や中小企業向けにローンを行います。

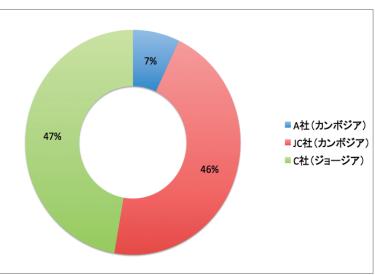
現在融資をしているカンボジアとジョージアの両国は共通してドル建ての融資、高利回り、低不良債権率、監督省庁の 強いガバナンスが特徴となっており、当ファンドを通して社会課題解決に貢献しながら、高いリターンを期待できます。

### ネクストシフトファンドの融資状況



### ■マイクロファイナンス機関への融資総額 ■マイクロファイナンス機関への融資割合





2019年7月時点



# ひと目でわかる社会的インパクト



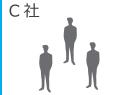






1,400,000 ドル

### MFI 借り手数



802名

### 借り手一人あたりのローン金額 C社



1,800 ドル

### MFI 男女比率

C社



60% 40%

### MFI 農家比率





40% 60%

# 融資先

# カンボジア



#### MFI 借り手数



856名



### MFI 男女比率



40% 60%

JC 社※



96% 4%

### 融資残高

A 社

13,000,000 ドル

JC 社

6,500,000 ドル

### 借り手一人あたりのローン金額

A 社

**†** → **\$** 

13,000 ドル

JC 社。

15,000 ドル

### MFI 農家比率



80%

JC 社



0%

100%



SDGs への貢献

### SUSTAINABLE GAL DEVELOPMENT GAL 17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD













### 融資先の紹介

第二回はカンボジアのJC FINANCE PLC社(JC社)の紹介です。

会社名: JC FINANCE PLC.

代表者名:菊池育朗

所在地:# 11(Sunrise Apartment Room No. 101), St. 376, Sangkat Boeung Keng Kong III, Khan Chamkarmorn, Phnom Penh, Cambodia

資本金(2018年12月末):5,000,000ドル(資本準備金含む)

総資産(2018年12月末):7,024,930ドル

売上(2018年12月末):504,575ドル

従業員(2018年12月末):38名

経営陣:菊池育朗(CEO),泊傑(COO),西口友子(HR Manager)

ウェブサイト: http://jcfinance.com.kh/

融資残高(2018年12月末):6,500,000ドル

貸し倒れ(2018年12月末):0件

借り手数(2018年12月末):488名

平均融資金額:15,000ドル

借り手の属性(農家など):専業農家、兼業農家

債権管理の方法:

定期的に融資先MFIから報告を受けることに加え、 担当者が現地に訪問し、融資先のヒアリングを実施



### 代表者メッセージ





# JC FINANCE PLC. CEO 菊池育朗

私達は2018年1月17日にカンボジア国立銀行より認可を受けたマイクロファイナンス機関です。そして凡そ1年間、経営が軌道に乗るまで、ステークホルダーの皆様からは強力なご支援を賜りました。まずはこの場を借り、改めて皆様へ感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。ステークホルダーの皆さまへ私達の「今」そして「想い」をここにお伝えしたいと思います。私達の現在の特徴というべき目標をあげるとすればそれは3つあります。第一に「農協ビジネスモデルの実現」、第二に「事業創業支援スキームの構築」、

第三に「フィンテック活用による機会創出」です。

第一の目標は日本の農業支援モデルを参考にしています。目指すものは「JA バンク」の様な機能銀行です。一方で「農協」の機能にあたる専門家企業や商社を外部パートナーとして、あらゆる営農シーンに発生するであろう金融ニーズを捉え資金供給をしてゆきたいと考えています。

第二の目標はカンボジアの金融構造のギャップに資するものです。大きな与信が可能な上位顧客先へは商業銀行等が中心に資金手当てをし、一方、主に携帯電話やバイクといった小口消費財の取得を使途とした下位顧客先へは、様々な銀行・マイクロファイナンス機関が資金手当てをしています。そこで私達は金融業界としてまだ注力されていない未開分野、且つ成長余地の大きい中位層へ、「農業ビジネスを創業する元手」として資金供給してゆきたいと考えています。

第三の目標は、IoT を積極活用することで得られるデータ分析に価値を見出すことです。私達は融資対象物である農機具 GPS を装着し、リアルタイムな位置や状態を把握できます。そしてそれら大量の動態情報を収集し分析することで、新たな与信方法やこれまで見えなかったビジネスチャンスを創造してゆきたいと考えています。

今後も、私達は持続可能な社内文化の醸成を土台に、企業の成長源泉となる利益を確保し続け、カンボジアの産業盛隆に貢献することで、社会的責任を果たそうと考えています。ステークホルダーの皆さまには、引き続き私達のよきパートナーでありアドバイザーとして、ご支援ご鞭撻を賜りたく存じます。唯一かつ独創的な (One and Unique) 金融機関を目指す私達に是非声援をお願い申し上げます。